

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 |      |  |   |  |            |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 13   | グループホーム開設以来、コツコツ職員学習を積み重ねて来た(毎月開催)が、認知症の方に寄り添い、対話する能力がまだ弱い。今年は基礎研修のテキストで1年間学習する。                                   | 介護職員基礎研修、認知症介護基礎研修のテキストで1年間に渡り学習する。のべ時間にして、約15時間を予定。  | 介護職員のあるべき姿情熱、態度、接遇、現場の心理学、アセスメント、認知症ケアの基礎について学ぶ。   | 12ヶ月       |
| 2        | 3    | 認知症カフェ「やまびこ」を2016年3月より始め、11回を開催してきた(奇数月)、2017年5月に、カフェを運営する運営委員会を法人会員とGH職員で構成し、運営を行ってきたが、まだまだ、企画力や参加者確保などに課題をもっている。 | 今期は今までどおり、奇数月開催を守り、認知症カフェの目的に沿った企画をみんなで考え、内容の充実した会にし、認知症の方の家族や、一般町民が気軽に足を運んでもらえる会を目標にした。常時20人以上の参加を目標にする。 | カフェの内容は、音楽コンサート、口腔ケア指導、家族への支援相談、認知症介護体験談、健康体操等を折りまげて開催したい。又、コーヒーや紅茶の入れ方の講習もカフェの中でやってみたい。 | 12ヶ月       |
| 3        | 14   | 法人設立以来10年の間、ことあるごとに、他団体、他事業所に、共催、ネットワークづくりを申し入れて来たが、まだ町内では成功していない。今年の認知症カフェをグループホーム同士の共同開催にこぎつけたい。                 | 偶数月の3回を共同開催できるよう努力してみたい。また、他事業所との共同学習会を提案してみたい。   | 認知症カフェの共同開催、他事業所との共同学習会の開催(内容は認知症介護の基礎知識)  | 12ヶ月       |
| 4        |      |  |   |  | ヶ月         |
| 5        |      |  |   |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。